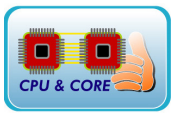
日本語

第一章　互換性

- ENERMAX NOISETAKER II 電源ユニット シリーズは、以下に準拠しています。
  - 『Intel ATX12V Power Supply Design Guide (電源ユニットデザインガイド)』 v2.2 の仕様、および v2.01、v2.0、v1.3 との下位互換
  - 『ATX System Design Guide (ATX システムデザインガイド)』 v2.2、v2.1
  - BTX/ EEB/ CEB
- お使いのメインボード (MB) は、Intel ATX12V v1.3 以降の仕様に準拠しています。

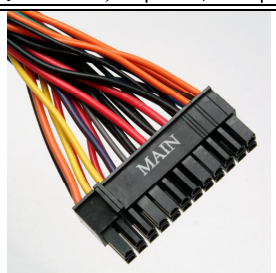
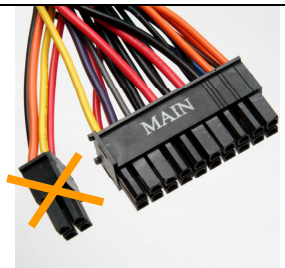
お使いの MB に ISA バスがある場合、本電源ユニットには一部の ISA デバイスをサポートするための-5v レールがないため、バスを完全にサポートできない可能性があります。このレールは ATX12V v1.3 より廃止されました。MB と ISA カードの準拠が不明な場合は、各メーカーにお問い合わせください。

第二章　機能

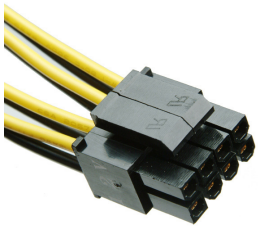
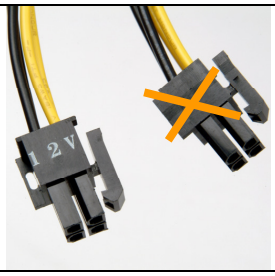
	デスクトップ用電源の規格に完全準拠。2 系統 12V 出力により、CPU、GPU、MB およびドライブ等へより安定した電源を供給します。
	デュアルコアシステム Pentium D XE および Athlon 64X2 など）およびデュアル CPU システムを完全サポート。
	ATX/BTX システムのエネルギー効率を高め、デュアル CPU エントリーレベルサーバー/ワークステーションをサポートするための変換可能な設計。
	システムをシャットダウンした後も冷却ファンが最低 30 秒間作動を続け、電源ユニットと PC ケース内のパーツとハードウェアを効果的に冷却しますこのため、電源ユニットとパソコンケース内のハードウェアの寿命を延ばすことができます。
	広負荷範囲(30-100%)下で効率 80%を実現した、省電力設計。
	ワールドワイド入力 100-240VAC 下で力率最大 99%の安定したクリーンな電力を供給します。
	最高レベルの安全を実現するため OCP、OVP、 UVP、 OLP、 SCP、 OTP による保護機能搭載。温度 0-40℃下で定格出力を発揮します。
	パソコンシステムに最適な冷却方法を提供。AMD より強く推奨されています。
	自動調節機能と手動調節つまみによる自動コントロールにより、ユーザが冷却効果とノイズのバランスを調整することができます。

第三章　ケーブルとコネクタ

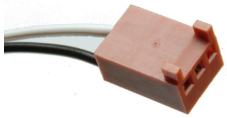
3-1　20+4 ピン メインボード電源コネクタ

	
24 ピン構成では、新世代の ATX / BTX コンピュータ (ATX12V v2.01 / v2.2)、および 2 ソケットの EEB / CEB サーバ / ワークステーション (EPS12V) ボードをサポートします。	20 ピン構成 (4 ピン モジュールは取り外され使用しません) では、以前の ATX システム (ATX12V v1.3 以前) をサポートします。

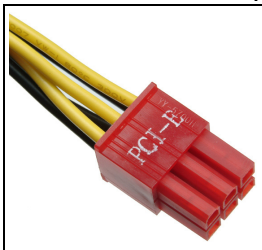
3-2　4+4 ピン CPU + 12V AUX 電源コネクタ

	
8 ピン構成では、2 ソケットのサーバ / ワークステーション システムと、一部のシングル ソケット コンピュータ システム (ATX12V v2.2 および EPS12 v2.1) をサポートします。	4 ピン構成では、ほとんどの ATX / BTX システムをサポートします (ATX12V v1.3 / v2.01)。「+12V」というマークの付いたコネクタを使用してください。

3-3　FM コネクタ (電源ユニットファン モニタ コネクタ)

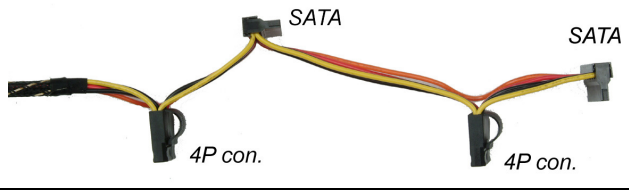
	このコネクタでは、BIOS 検出のための 電源ユニット 8cm ファン RPM 信号を提供します。システム モニタ プログラムを使って、ファンの速度が異常になったり、メイン ボードのデフォルト設定よりも下がった場合にアラームを発します。このような場合、アラームの限界値が正しく設定されているかどうかを確認するか、またはファンの速度モニタを停止してください。

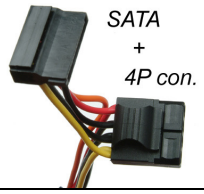
3-4　6 ピン PCI Express　ケーブル**(420W / 485W / 600W):**

	PCI-E x16 グラフィックス カードに +12V 出力を提供します。お使いのグラフィック カードで PCI-E 電源コネクタが必要な場合は、ご利用ください。

6 ピン PCI-E コネクタと 6 ピン SSI ワークステーション電源コネクタを間違えないでください。一部のデュアル プロセッサ ワークステーション ボードでは、この 6 ピン SSI ワークステーション電源コネクタ (+3.3V および +12V 出力) が必要です。6 ピン PCI-E コネクタと 6 ピン SSI ワークステーション コネクタは、ほぼ同じように見えますが、供給する DC 出力が異なります。これらのコネクタを誤使用すると、システムや電源ユニットが破損する恐れがあります。
この 電源ユニットには、このような SSI ワークステーション電源コネクタは含まれていません。

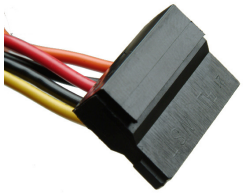
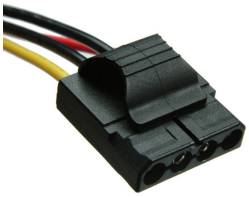
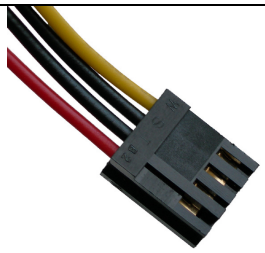
3-5　ENERMAX ETERNITY コネクタ**(420W / 485W / 600W):**





これらの周辺機器ケーブルには 4 つの電源コネクタがありますが、ケーブル 1 本につき 2 つの HDD または ODD **のみ**接続することを強く推奨します。1 つのケーブルにつき 4 つ以上のデバイスを接続したり、追加アダプター(Y ケーブル) を使用することは故障や事故の原因となりますので行わないでください。保証対象外となります。

3-6　ドライブとペリフェラルへの接続

		
SATA 電源 SATA インターフェース ドライブ用	**4 ピン Molex** HDD / ODD / 周辺機器用	**FDD** フロッピー ドライブ用

第四章　システムの起動

システムを起動する前に、以下をもう一度確認してください。

1. 主電源コネクタ (20 または 24 ピン構成) が正しく接続されている。
2. CPU の +12V 電源コネクタ (MB で必要な場合) が正しく接続されている。
   または、4 ピン Molex コネクタ (MB で必要な場合) が正しく接続されている。
3. FM コネクタ (MB で必要な場合) が正しく接続されている。
4. その他の必要なコネクタがすべて正しく接続されている。

正しく接続しないと、コンピュータが起動しない、一部のコンポーネントの損傷等問題が発生する可能性があります。

5. AC コードがコンセントと電源ユニットの AC 入力に正しく接続されている。
6. コンピュータのカバーを閉じます。
7. I/O スイッチを「I」に設定して電源を入れると、コンピュータの準備完了です。
8. ここでコンピュータの電源ボタンを押して、コンピュータの電源を入れることができます。

第五章　保護、安全およびセキュリティ

本 ENERMAX NOISETAKER II 電源ユニットには、いくつかの保護機能が搭載されています。もっとも異常な状況で、電源やその他のコンピュータ コンポーネントへの潜在的な危険を回避するために、自動的に電源が切れるようになっています。保護機能が働いたとき、ほとんどの場合、コンポーネントの不具合やユーザーの不注意が原因です。このような場合、いったん電源を切り、各デバイスとの接続を外して、コンピュータ デバイスや作業環境に不具合がないか確認してください。

1. 電源ユニットの I/O スイッチを「O」にします。
2. コンセントや電源ユニットの AC 入力の AC コード
3. 追加ドライブなどの不要なコンポーネント
4. 電源ユニットに触って温度を確認します。非常に高温になっている場合は、ケースのファンや 電源ユニットのファンの不具合や、コンピュータの不適切な置き場所 (本マニュアルの冒頭にある推奨事項を確認してください) が原因で熱くなった可能性があります。
5. 電源ユニットの熱が冷めるまでしばらく待ちます。
6. AC コードをコンセントおよび電源ユニットの AC 入力に再度接続します。
7. 電源ユニットの I/O スイッチを「I」にします。
8. ファンが作動していることを確認します。
9. 問題の原因であると考えられるコンポーネント (MB、GPU、電源ユニットなど) のメーカー各社のテクニカル サポートに連絡します。

5-1　OVP (過電圧保護機能)

次のいずれかの DC 出力がそれぞれのトリガー ポイントを超えたときに、電源ユニットは自動的に停止します。

DC 出力	**トリガー ポイント**	**単位**
+3.3V	3.76 ～ 4.6	ボルト
+5V	5.5 ～ 7.0	ボルト
+12V1 または 12V2	13.4 ～ 15.6	ボルト

5-2　OLP (過負荷保護機能)

コンピュータの電力消費が本電源ユニットの最大定格出力 110%～160%を超えると、50 ミリ秒で自動的に停止します。

5-3　SCP (漏電保護機能)

ショートが発生したときは、以下を確認してください。

1. 電源コネクタがコンポーネントに正しく接続されているかどうか。
2. 電源ケーブルに傷がないかどうか。
3. コネクタの端子に付着物がないかどうか。
4. 漏電が解消された場合でも、デバイスに損傷がないかどうか確認してください。

5-4　UVP (不足電圧保護機能)

本電源ユニットは、適切な設計余裕を保証するために 75 ～ 85 VAC 入力電圧で正常に作動し、電圧のラインが 65 ～ 75 VAC に落ちたときに自動的に停止します。これは「ブラウンアウト」とも呼ばれます。

5-5　OCP (過電流保護機能)

本電源ユニットは、次のような過電流出力時にラッチモード (停止) が作動します。

DC 出力	**トリガー ポイント**	**単位**
+3.3V	55	A
+5V	53	A
+12V1 / V2	30	A

いずれかのトリガー ポイントを超えると、電源ユニットは自動的に停止します。これは、次のような原因で、お使いのシステムの DC 出力または全出力の電力消費が高すぎるときに作動します。

1. デバイス数が多すぎて、非常に多くの電力を消費する。
2. コネクタがしっかり接続されていない。
3. 過度なオーバークロック。

5-6　OTP (過熱保護機能)

ヒートシンクのセンサーが 90℃ ～ 110℃を上回ると、電源ユニットは自動的に停止します。

お使いのシステムが突然停止し、電源ユニットのカバーが非常に高温になっている場合は以下を確認してください。

1. 電源ユニットの熱が冷めるまでしばらく待ちます。
2. コンピュータを再起動して、電源ユニットとケースのファンが作動するかどうか確認します。作動しない場合、ケースのファンを交換するか、電源ユニットの購入元または ENERMAX にご連絡ください。

ご質問やサポートについては、購入元または最寄りの ENERMAX 関連会社 / 販売代理店または ENERMAX 本社のサービス センターにお問い合わせください。